

都小音研

令和5年3月9日第65巻443号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都稲城市矢野口3635
稲城市立南山小学校

子供と共に学び続けられることに感謝

東京都小学校音楽教育研究会
副理事長 篠澤 章子
(荒川区立尾久宮前小学校長)

令和5年1月、東京都小学校音楽科研究会「令和4年度 第65回 研究大会 山の手Dゾーン大会」が3年ぶりに対面で開催でき、各地区の研究成果が十分に発揮されました。大会開催に向けてご尽力いただきました世田谷区・渋谷区・町田市の先生方をはじめ、関係の皆様には、心より感謝申し上げます。

山の手Dゾーン大会は、ホールの改修およびコロナ禍により4会場の学校開催となりました。著作権やセキュリティの問題など課題が山積したオンラインによる事前録画配信や研究協議会。その困難さを乗り越えたDゾーンの先生方の熱意は、録画した映像の子供たちの姿にも十分表れていました。参観の先生方には、Dゾーンの提案が、自らの専門性を大きく向上させる機会になったと思います。改めて先生方が「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った、個別最適な学び、協働的な学びによる授業改善を子供たちと共に実践し続けていると感じることができました。

このように様変わりした都小音研の研究大会ですが、変わらずに意識してきたものがあります。それは「つなげよう 深めよう 生かそう 音楽の学びを」と掲げてきた都小音研の研究主題です。子供たちが予測困難な時代を生き抜く確かな力を、音楽科教育で育むことを目指しています。

思い起こせば、私の人生も音楽と人との出会いに満ちていました。東京都の音楽専科に合格した15年前から今まで駆け抜けてきました。私の小学校時代の最大の楽しみは「お楽しみ会」でした。教室のオルガンでかっこいい伴奏を付けるとみんなが歌ってくれて「自分が先生になって毎日でもお楽しみ会をやりたい」と真剣に思ったものでした。一度は中学校の音楽教師になり合唱コンクールや吹奏楽部の指導に明け暮れました。やがて、中学生の憧れる音楽業界での企画、マネージャー業に転職しましたが、漠然と自分が本当にやりたいことを自問する日々でした。自分の環境を変えたい。そんな時、主人の転勤でバンコクに同行することになり、レンタルしたピアノをずっと弾く日々でしたが、日本人学校から音楽の先生が病休になり「明日から授業をしてくれませんか」と依頼を受け、音楽の講師をすることになりました。夕方からは自宅でピアノ教室を開きました。時には自宅のキッチンやリビングで「ケーキ教室」「たこ焼きパーティー」を開き、大人ともコミュニケーションを取ることで「お楽しみ会」好きの感覚を取り戻しました。こうして、日本人学校で授業させていただけた嬉しさが人生を再び変えるきっかけになったのです。東京に戻り採用試験を受け、三鷹市で音楽専科としてスタートしました。地区の先生方に支えられ、合唱団を作り、合唱研に夢中になりました。管理職までの8年間、東京教師道場の小学校音楽科のリーダーを4年間、都教育研究員を1年間させていただきました。この時、私自身こそ学び続けたいと実感し、副校長職だった江戸川区で、校長職の今も都小音研、荒川区の皆様を支えられ学びを継続しております。

私の一番の願いは、子供が「明日も行くのが楽しみ」と思える学校を作ることです。その楽しみの中に、音楽があればよいと常に思っています。

結びに、吸い込んだ空気に春を感じて誰かに伝えたくなる日が増えました。もうすぐ桜の季節、門出の季節です。それぞれの学校で卒業式に向けての準備が行われる時期です。子供たちが「卒業」という門出に向けて、友達と心を通わせながら歌っている姿を応援したいと思います。



研究授業

鑑賞



「曲想の変化を感じ取って聴こう」

世田谷区立東玉川小学校(第5学年) 授業者:松岡 敬子
 ビゼー作曲の「カルメン前奏曲」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを考え、味わって聴く学習を行いました。本時では、教師が考えた偽物作曲家ビジョーの作品(Aの旋律が繰り返し返されたもの)と、ビゼーの作品(ABCで終わるもの)を聴き、原曲は①変化がある、②Aが繰り返し出てくる、③最後がAで終わるといった特徴に気がきました。その上で、タブレット端末で文章を表し、通信機能で友達と考えを交流し、自分の考えを広げ、深めました。助言者の小梨貴弘先生、支えてくださった方々にお礼申し上げます。(研究チーフ 世田谷区立京西小学校 藤田 基)



研究授業

器楽



「曲の感じを生かして表現を工夫しよう」

世田谷区立城山小学校(第3学年) 授業者:陸田 祐子
 拍にのってステップを踏み、体全体で生き生きとした曲想を感じ取ることから授業はスタートしました。グループのアンサンブルでは、一人一人の考えを共有できるように、線分図とマグネットを使い、自分達の表現を目指して音色、速度、強弱の3つの要素を試行錯誤しました。講師の大湊先生には、音板に眠っている一番いい音を引き出すための演奏技能の指導についてご教示いただき、表現一つに絞ることが目的ではなく子供が何を「生き生き」と捉えて表現したか考えをもつことが大切と教えていただきました。大湊先生、大会に携わったすべての皆様に心より感謝申し上げます。(研究チーフ 世田谷区立代沢小学校 安藤 直子)



研究授業

音楽づくり



「和音に合わせて旋律をつくらう」

渋谷区立中幡小学校(第5学年) 授業者:山下 祐介
 和音と旋律の関係をよりどころに、旋律の動きを工夫しながら、自分の思いや意図に合った4小節のまとまりのある旋律を、タブレット端末を活用しながらつくる活動を行いました。本時では、前半の中間発表を通して、児童の工夫を教師が丁寧に価値付けたことで児童の思考が深まり、後半は、自分の旋律づくりに生かそうとする姿や、児童同士で教え合ったり伝え合ったりする姿が見られました。今回の提案を、先生方の今後の実践に生かしていただければ嬉しく思います。最後に、ご指導いただきました平野次郎先生をはじめ、大会に携わった全ての方々に心より感謝申し上げます。(研究チーフ 渋谷区立猿樂小学校 三木 由喜乃)



研究授業

歌唱



「曲想の変化を感じ取ろう」

町田市立小山ヶ丘小学校(第6学年) 授業者:柿崎 舞
 「Wish ~夢を信じて」を教材として、曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、思いや意図もち、表現を工夫する学習に取り組みました。思考したことと表現が一体となる児童の姿を具現化するために、既習事項との関連・拡大楽譜を用いた板書の工夫・ワークシートの作成・発問の精査を研究主題に迫る手立てとして挙げ、分科会で研究を進めていきました。ご指導をいただきました助言者の眞鍋な、子先生をはじめ、都小音研、ゾーンの先生方に心より感謝申し上げます。(研究チーフ 町田市立金井小学校 鈴木 悠子)



研究演奏

歌唱



「共に歌おう 共にひびかせよう やまのメッセージ」

世田谷区立山野小学校(第6学年) 指導者:縣 麻衣子
 ゾーン研究主題の下「自分の思いをもち、深く考えて歌えるようになって欲しい」という指導者の願いを大切にしながら研究を進めてきました。作曲家の三宅悠太先生からは、曲を通して児童が考えた質問に対して直接答えていただき、さらに、拍節をそろえ、曲想に合わせてキャラクターを変化させる大切さをご指導いただきました。児童は、友達と色々な表現を試して歌いながら考えることによって、より一層、曲への思いを高めて歌うことができました。ご指導いただきました三宅悠太先生をはじめ、大会に携わったすべての皆様に心より御礼申し上げます。(研究チーフ 世田谷区立船橋小学校 杉山 純子)



研究演奏

器楽合奏



「思いを表現に生かそう」

渋谷区立神南小学校(第5学年) 指導者:渡邊 祥子
 子供たちは、メドレーにした4曲の特徴やよさを感じ取って表現に生かしていくために、友達と考えを伝え合い、曲に向き合いました。体育館に全員が揃ってからは、テンポの変化やフレーズのとらえ方を共有し、それぞれの曲想を生かして演奏しました。何度も音で確かめていくうちに、子供たちの思いが一つになり、音楽にのせて表現することができたと感じました。撮影当日は、これまで温かく細やかなご指導をいただいた助言者の伊原先生や、保護者に見守られ、一人一人が自信をもって演奏しました。ご指導ご支援くださった全ての方々に心より感謝申し上げます。(研究チーフ 渋谷区立常盤松小学校 本村 依子)



研究演奏

器楽合奏

音楽づくり

「響け! ナンシーサウンド ~四季を感じて表現しよう~」

町田市立南第四小学校(第5学年) 指導者:岩崎 紗和子
 四季の音楽により親しみ、この地域を美しい故郷として感じられるような感性や音楽を愛好する気持ちを育むことを目指して、取り組みました。曲と丁寧に向き合い、曲想や音楽の特徴を共有した上で、児童同士や地域の専門家と交流し、音楽表現を広げ深めることができました。

助言者である津田正之先生には、演奏を仕上げるまでの過程が大切であるということをお教示いただきました。本番の撮影では、児童一人一人が四季を感じながら曲想にふさわしい表現を工夫して演奏することができました。ご指導ご支援くださった方々に感謝申し上げます。(研究チーフ 町田市立南成瀬小学校 宮崎 可菜子)



本大会は新型コロナウイルス感染症とともにあった大会でした。当日を迎えるまで常に不安を感じていましたが、無事大会を開催することができ、安堵しています。

開催にあたりましては、東京都ならびに関係各区市の教育委員会、貴重なご指導を賜りました助言者の先生方、会場をご提供くださいました各学校の校長先生など多くの皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。そして、本大会のために精力的に携わり、開催実現のために長期にわたってご協力くださいました関係者の皆様には改めて敬意を表し、次の大会へつないでいきます。

山の手Dゾーン大会を終えて

山の手Dゾーン大会研究部長
世田谷区立希望丘小学校 佐々木 陸

「課題を見つけるとは?」「対話で学びを広げるには?」「音楽の大切さをどうにかして実感させたい」「深い学びとは?どうすれば実現できる?」コロナ禍という逆境の下、これらの切実な悩みを解決すべく始まった、山の手Dゾーンの研究。大会主題「見つけよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」の下で行った4本の研究授業と3本の研究演奏は、音楽授業の、そして研究大会の「新時代」を切り開く貴重な提案となりました。対面とオンラインを併用した指導案検討、ICTを駆使した個別最適な学び方や協働的な学習活動の提案、その中から見いだした「主体的・対話的で深い学び」の、とりわけ「深い学び」を実現するための具体的な手立て……これらの誇るべき財産を、いただいたご意見やご指導を基にブラッシュアップさせ、4会場が一つになったあの絆を胸に、引き続き「私たちの音楽」の実現に邁進していきます。改めて、運営や研究推進に携わった皆様に、心から敬意を表します。

第59回 合唱祭

令和5年2月19日(日)・23日(木/祝)
府中の森芸術劇場どりーむホール

第59回合唱祭が3年ぶりに2月19日・23日の二日間にわたって、府中の森芸術劇場どりーむホールにて開催されました。今年度は39校の子供たちが日頃の成果を発表しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、今年度は全員合唱ができないため、各校から選出された代表児童がステージ上で歌う合同合唱になりました。

講師の藤澤幸義先生からは、出演した各校に講評をいただきました。

終了後の事後研究会では、ワークショップがありました。藤澤先生からは、①子音の上の母音について。②姿勢、ブレスの仕方について。③母音はエネルギーをもって。④歌う前の集中力が大事。⑤子どもに教える時は楽しくシンプルに。等、会員が日頃から悩んでいる発声指導についての具体的な指導の言葉がけをいただきました。また、実際に曲を使って試してみながら実感を伴った歌唱指導をしていただき、多くのことを学びました。

運営に当たった会員やOBの方々など二日間で150名近くの会員が参加しました。藤澤先生の専門的な発声指導と合唱指導者としての

視点をもった温かいアドバイスをいただき、明日からの指導に役立つ素晴らしい充実した研究会となりました。



合唱研究会研究部長 田中 裕美 (目黒・中目黒小)

山の手Dゾーン大会報告

都小音研研究部長
立川市立第三小学校 半野田 恵

令和5年1月27日、山の手Dゾーン大会が開催されました。会場を4か所に分け、動画視聴とリアルタイム配信という、新しいスタイルの発表となりました。

大会主題「見つけよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」を設定し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して研究を進めてきました。着実な実践研究を積み重ねてきたことが、公開授業、研究発表、研究演奏などでご覧いただけたと思います。

閉会后、もう一度オンラインで4会場をつなぎ、互いに拍手を送り合いました。画面いっぱいに先生方の笑顔があふれ、会場は離れていても、一緒に大会を終えたという一体感がありました。

山の手Dゾーン大会に携わった皆様に心より敬意を表します。本大会の成果を次の西武ゾーン大会へとつないでいきます。

第47回東京都小学校管楽器演奏会

令和5年2月19日(日)・25日(土)・26日(日)
武蔵野市民文化会館大ホール

第47回東京都小学校管楽器演奏会が上記の日程で三日間にわたって開催され、36校が参加しました。昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になりましたが、今年度は3年ぶりの開催となりました。それぞれの学校事情から、課内活動・課外活動・学年とバンドの在り方は違いますが、どの学校も1年間の活動の集大成という位置付けで参加しています。また、指導者にとっても管楽器研究会で研究・研修してきた学びの延長線上にある会です。

当日は、どの学校の子供たちも目を輝かせながら自信に満ちた姿で演奏し、これまでの練習で積み重ねてきた力を思う存分に発揮することができました。1年間の活動を締めくくる演奏会として、大きな舞台で生演奏できることの素晴らしさを誰もが実感しました。

3月の例会では、全演奏を講評していただいたスクールバンドサポーターの田川伸一郎先生を講師にお招きして演奏会を振り返り、様々な観点からご指導していただきます。今後の活動や次の演奏へどう生かすか、私たちにとって大切な学びの機会としていきます。



管楽器研究会副理事長 大谷 美奈子 (豊島・高南小)

第59回 児童作曲コンクール 審査結果

2月10日(金)カスケードホールにて、3年ぶりの授賞式・入選作品演奏発表会が行われました。
来年度も多くの作品が生まれることを期待しています。

課題詩の部1「おやつ時間」

浅田 真知 詩

- 入選 辻 明音 (江東・平久小4年)
菅谷七海・前田葵衣・和田紬・吉開桃子
(江東・豊洲西小4年)
久能彩歌 (目黒・大岡山小5年)
志村明音 (世田谷・烏山北小6年)
佳作 上原伊織 (江東・第三砂町小3年)
山下真由 (練馬・下石神井小4年)
板垣果歩 (立川・第四小6年)

課題詩の部2「森はみどりのシャワー」

二瓶 みち子 詩

- 入選【審査員特別賞】久能彩歌・福永菜生
(目黒・大岡山小5年)
三輪真央 (練馬・練馬第三小4年)
日下部めい (立川・幸小3年)
佳作 和田彩奈 (港・青山小5年)
青柳千緒 (江東・平久小3年)
井上明美 (江東・第三砂町小3年)

自由作品の部ア(旋律のみの作品)

- 入選 牧野知歩 (世田谷・尾山台小5年)
佐藤乃愛 (渋谷・千駄谷小3年)
沼田理玖 (江戸川・船堀小4年)
佳作 志村明音・志村琴音
(世田谷・烏山北小6年・4年)
田中 温・二ノ宮陽奈・山川ひなた
(練馬・練馬第三小5年)

自由作品の部イ(伴奏等がついたもの)

- 入選【会長賞】生澤真央
(あきる野・五日市小6年)
松田理紗子 (新宿・牛込仲之小3年)
市川 奏 (文京・林町小5年)
大沼真由美 (渋谷・千駄谷小4年)
服部咲希 (足立・栗原小5年)
佳作 齋藤 響 (中央・日本橋小1年)
早川瑠威 (新宿・富久小4年)
瀬川史聖 (大田・南六郷小6年)
井上こひろ (世田谷・桜丘小5年)
児玉結風 (葛飾・綾南小3年)

学校賞(3年連続して作品応募のあった学校)

- 江東・第三砂町小 ○大田・入新井第四小
○世田谷・尾山台小 ○世田谷・烏山北小
○杉並・桃井第四小 ○板橋・志村小
○練馬・練馬第三小 ○練馬・上石神井小
○足立・淵江小 ○江戸川・船堀小
○江戸川・第七葛西小 ○江戸川・清新第一小
○三鷹・第三小 ○三鷹・北野小
○あきる野・五日市小

♪今年度の受賞作品は、入選作品集としてまとめて
います。(1冊600円)ぜひ、今後の作品づくりに
お役立てください。購入希望の方は下記までご連
絡ください。

◇問合せ先：事業部長 脇田秀男(新宿・牛込仲之小)

都小音研 研究大会 第66回研究大会

令和5年度「西武ゾーン大会」

大会主題

「つかもう 広げよう 生かそう 私たちの音楽!」

日時：令和6年1月26日(金)

場所：日本文華学園 文華女子高等学校

内容：研究授業6本 研究演奏2本

研究協議 研究発表 講評・講演

山の手Dゾーン大会の成果と課題を踏まえ、音楽科の
目標を達成する授業の実現を追求し、学びの場を創造し
た授業づくりに向け、5地区(練馬区・小平市・清瀬市・東
久留米市・西東京市)で研究を進めております。

つきましては、東京都をはじめ、全国の皆様と今の音楽
科教育をともに考える機会にしたいと思います。

編集後記

ゾーン大会が対面で開催できたことをとても嬉しく感じま
した。規制緩和により「何を残すか」の判断を迫られ、悩む日々。
講演を聴き「ウェルビーイング」という概念を大切にしようと
思いました。(KK)

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈12月理事会〉 12 / 15 於：八幡小学校

議長：南 咲良(東大和・第二小)

○会長あいさつ

○議事

- 1・2月の行事予定について
- 山の手Dゾーン大会について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報
- ゾーン毎の音楽行事に関する情報交流
及び、全体共有

計 報

名誉会友 渡邊陸雄先生がご逝去されました。
ここに追悼の意を表すとともに、心よりご冥福を
お祈り申し上げます。

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 峯岸敦子

編集：広報部

印刷：タイヨー美術印刷株式会社